

発題1 「聖書からの視点でヤスクニ問題を考える」

辻 幸宏（改革派東部中会社会問題委員会委員・大宮教会牧師）

序.

改革派大宮教会牧師の辻幸宏です。改革派東部中会の社会問題委員会の委員も行って

います。今日は、ヤスクニ探訪プレ集会として、皆さまにお集まりいただき、心より感謝します。キリスト教会で「ヤスクニ」の話しをすることが、異質なことを扱っていると思っておられる方が少なからずあるかと思

います。また、一昔前のことをご存じの方は、「靖国神社国家護持法案」が扱われた時期はともかく、今でも「ヤスクニ」を行う意義があるのだろうか

と考える人もいます。私自身、委員の立場がありますが、声を張り上げて「ヤスクニ」を語り続けなければならない、とは思って

いません。これは素晴らしいことです。コロナ禍にあってリモートのみで行っていましたが、今年

は、現地で行うことが決まっています。実は、両委員会が共催なのですが、東部中会社会問題委員会には、「これを行うから協力をお願いします」ということで、案内一枚が届いて、行っていたのが、ここ数年でした。東部中会側の委員の引継ぎが

1. 現在世界の現実

ま

た、現実

ですが、台湾危機が迫っています。台湾で戦禍が交わると、日本も巻き込まれることは必死です。万が一、日本が参戦すると

2. 日本の教会の対応

日本は鎖国から開国して以来、日清戦争(1894)、日露戦争(1904)、第一次世界大戦(1914)、日中戦争(1937)～第二次世界大戦(～1945)と戦争を繰り返して

来ました。特に日中戦争から第二次世界大戦においては、キリスト教会は、教団合同(1941)に協力し、教会の指導者が神社参拝を行いました。そして積極的に戦争協力を行って

した。教会の礼拝において、最初に宮城遙拝が行われ、皇居の方を向いてお辞儀を行い、また讚美歌として君が代を歌いました。教会は、戦争に協力するだけではなく、偶像崇拜を、公的に行ったのです。

今に生きる私たちキリスト者は、この反省の上に教会を立て、キリスト者としての歩みを行わなければなりません。なぜ当時の教会が信仰の戦いを行うことができな

ったのか、様々な要因がありますが、その一つが旧約聖書をあまり読まなかったことです。また、ここは長老教会と改革派教会の集会ですので語りますが、旧日本基督教会では、使徒信条という簡易信条しか持たず、ウェストミンスターやハイデルベルクといった詳細信条を持たなかったことも、信仰の戦いを行うことができなかつた原因として挙げるができるかと思ひます。

3. 神のかたちにつくられた人間

そこで、今から、主に旧約聖書の御言葉に聞きたいと思ひます。最初に、創世記 1:26 ~ 28 **神は言われた。「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。」**神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。神は彼らを祝福して言われた。「産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。」

主なる神は、私たち人間を、三位一体の神にかたどり、神に似せて造ってくださいました。このとき、人は、主なる神との愛

の交わり、つまり神礼拝が行われ、神と同じように永遠に生きる者とされました。ここでは、他の神などありまへません。

そして、主なる神は人に一つの約束を行いました。生命の契約と言われます。創世記 2:16 ~ 17 **主なる神は人に命じて言われた。「園のすべての木から取って食べなさい。ただし、善悪の知識の木からは、決して食べてはならない。食べると必ず死んでしまう。」**

人には、多くの恵み豊かな果実が与えられ、善悪の知識の木から実を食べる必要もありませんでしたし、食べないで生きることも可能でした。

4. 罪を犯し、全的墮落に生きる人

しかし、蛇の誘惑にあった男と女は、罪を犯しました。この最初の罪は、彼ら自身、そして彼らから生まれるすべての人に引き継がれます。原罪と現行罪です。罪には二つの方向性があります。主なる神から離れ、偶像を神とすること（十戒の第一の板）。生活が乱れる（十戒の第二の板）ことです。今日は、神から離れることにより、どういうことを人が行ったのか、特に第一の板、第一戒・第二戒について旧約聖書から確認していきます。

第一に神から隠れ、神から離れていきます。創世記 3:8 **アダムと女が、主なる神の顔を避けて、園の木の間に隠れた。**

次に、自分で神に近づこうとする、あるいは自分が神になろうとします。それがバベルの塔（創世記 11:1 ~ 9）によって、記されています。

そして、主なる神を信じると語りながらも偶像を作ってしまうのが金の子牛を作るということです（出エジプト 32 章）。

イスラエルの民は、カナンに入り、バベルやアシェラといった偶像を信じたりして罪を繰り返し、イスラエル王国は、北イスラエル王国と南ユダ王国に分裂し、さらに北イスラエル王国はアッシリアに、南ユダ王国はバビロンに滅ぼされることとなります。ここにあるイスラエルの罪が、偶像崇拜でした。象徴的な言葉として、ホセア書の言葉を挙げておきます。

ホセア書：1:2

「行け、淫行の女をめとり

淫行による子らを受け入れよ。

この国は主から離れ、

淫行にふけているからだ。」

5. 十戒

(0) 十戒の区分

ユダヤ カトリック ルーテル 正教会
改革派

	I	I	I	序
わたしはあなたの神、主であって、あなたをエジプトの地、 奴隷の家から導き出した者である。				
あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない	II	I	I	I
あなたは自分のために、刻んだ像を造ってはならない。	II	I	I	II
あなたはあなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない	III	II	II	III
安息日を覚えて、これを聖とせよ。	IV	III	III	IV
あなたの父と母を敬え。	V	IV	IV	V
あなたは殺してはならない。	VI	V	V	VI
あなたは姦淫してはならない。	VII	VI	VI	VII
あなたは盗んではならない。	VIII	VII	VII	VIII
あなたは隣人について、偽証してはならない。	IX	VIII	VIII	IX
あなたは隣人の家をむさぼってはならない。	X	IX	IX	X
隣人の妻、男女の奴隷、牛、ろばなど隣人のものを一部欲 してはならない。	X	X	X	X

※讚美歌交読文では、前文が省かれている。

次に主がお与えくださった十戒を確認したいと思います。十戒は、出エジプト記 20 章と、申命記 5 章に記されています。私たちは十戒と語りますが、「契約の言葉、十の言葉」（聖書協会・共同訳 出エジプト記 34:28）であり、「戒め」と語ると、本来の神の求めから離れることに注意しなければなりません。

ここで上記の表を確認して頂きたいと思います。実は聖書には、「第一戒は〇〇」、「第二戒は〇〇」とは語られていません。そのため、教派によって区分が違ってきます。この区分の違いは、小さいようで、実は大きなことだと思えます。

(1) 序文

序文は大切です。出エジプト記 20:2 「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である」。序文があることにより、主なる神がイスラエルを奴隷から解放して下さり、救ってくださった後に、律法が与えられたことが明らかになります。主はイスラエルが律法をまっとうできないことを知っておられつつ、守るように命じています。

しかし序文が疎かにされることにより、律法を守った結果、「〇〇ねばならない」が強調され、律法を守ることによって救わ

れるという律法主義となってしまいます。改革派・長老派教会は、正教会と同じですが、他のユダヤ教・カトリック教会・ルーテル教会において共通していることは、私たちが第一戒と第二戒を分けている部分を、一つにしていることです。第一戒と第二戒が一つになることにより、「刻んだ像を拜んではならない」ことが疎かにされ、先ほど確認しました金の子牛を作成するようなことが起こってしまいます。このことは偶像崇拝に結び付き、マリア・聖画・聖像を崇拝しているのではないのでしょうか。

また、カトリック教会・ルーテル教会では、そこに序文も一緒にしてしまいます。

れるという律法主義となってしまいます。

ウェストミンスター小教理問答を確認していきます（松谷好明訳：改訂版 2004）。ウェストミンスター小教理問 44 十戒の序文は、わたしたちに何を教えてくださいか。

答 十戒の序文は、わたしたちに神は主であり、わたしたちの神また贖い主であるので、それゆえにわたしたちは神のすべての戒めを守らなければならない、ということをお教えています。

(2) 要約

序文と共に大切なのが、十戒の要約です。
マタイ 22:37～40 イエスは言われた。

『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。」

序文を確認したときに、主による救いが最初であることを語りました。つまり主なる神の愛により、あなたは罪が赦され、神

の民とされていることを忘れてはなりません。そのため、主によって愛され、主による救いに与っているからこそ、主を愛し、主なる神のみを神として、礼拝を献げるのです。

ここまで確認することにより、律法(十戒)は、「戒め」と語られ「～してはならない」と記されているため、裁きの規準が与えられているように思ってしまうことが、十戒は、神の愛に基づいて与えられていることを知らなければなりません。

(3) 第一戒

次に第一戒に移ります。出エジプト 20:3
あなたには、わたしをおいてほかに神があつてはならない。Exo 20:3 Thou shalt have no other gods before me. (KJV)

問 45 第一戒は、どれですか。

答 第一戒は、「わが顔の前に、我のほか何物をも神とすべからず」です。

KJV、文語訳聖書(1887)の時代、“before me”「わが顔の前に」が聖書本文に記されていましたが、本文研究の結果、現在では省かれています。つまり、モーセによって十戒がイスラエルの民に与えられ、聖書に記されたのですが、その後、手書きで写されていきますが、これが書き加えられたと、現代では判断しています。しかし、重要だからこそ、後の人たちが書き加え、その後も、同じように写されてきたということができるかと思えます。このことは、後ほど、改めて確認します。

問 46 第一戒では、何が求められていますか。

答 第一戒はわたしたちに、神が唯一のまことの神、またわたしたちの神であることを知り、認めること、そして、その事実にあふさわしく神を礼拝し、神に栄光を帰すこと、を求めています。

問 47 第一戒では、何が禁じられていますか。

答 第一戒は、まことの神を神、またわた

したちの神、として否定したり、まことの神を礼拝し、かれに栄光を帰すことをしないこと、また、まことの神のみにふさわしい礼拝と栄光を、何か他のものに与えること、を禁じています。

ウェストミンスター小教理・大教理において大切なことは、「禁じられている」ことと共に「求められていること」が問われていることです。これは、神の愛に生きるために、積極的に何が求められているかを確認しています。この第一戒では、最初に確認したように、創造主である神、贖い主である神の御前に、私たちが生きていることを確認することにより、他の神々を意識して拒絶することができるようになるのではないのでしょうか。

問 48 第一戒の「わが顔の前に」という言葉によって、わたしたちは特に何を教えられていますか。

答 第一戒の「わが顔の前に」という言葉はわたしたちに、すべてのことを見ておられる神は、何かほかの神をもつという罪に特に目を留め、これを非常に不快に思われることを教えています。

これは先ほど確認した「わが顔の前に」ということです。私たちは、直接、主なる神もイエスさまも、目にすることができません。直接、声を聞くこともできません。しかし、神の御前に生きている(コーラム

・デオ) ことを覚えることは、大切なことです。私たちは、教会に来てるときだけ、神を礼拝しているときだけ、お祈りしているときだけ、主なる神の御前にいるではありません。いつでも、どこにいても、

(4) 第二戒

続けて第二戒です。出エジプト 20:4 ~ 6
あなたはいかなる像も造ってはならない。上は天にあり、下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるものの形も造ってはならない。あなたはそれらに向かってひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。わたしは主、あなたの神。わたしは熱情の神である。わたしを否む者には、父祖の罪を子孫に三代、四代までも問うが、わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、幾千代にも及ぶ慈しみを与える。

問 49 第二戒は、どれですか。

答 第二戒は、「汝、己のために、何の偶像をも彫むべからず、また上は天にあるもの、下は地にあるもの、ならびに地の下の水のなかにあるものの、何の形をも作るべからず、これを拝むべからず、これに仕うべからず、われエホバ汝の神は嫉む神なれば、我をにくむ者にむかいては、父の罪を子に報いて三四代に及ぼし、我を愛しわが戒めを守る者には恵みを施して千代にいたるなり」です。

問 50 第二戒では、何が求められていますか。

答 第二戒は、神がかれの言葉において定めておられるすべての宗教的礼拝と規定を受け入れ、実施し、純粹かつ完全に保つことを求めています。

6. 御言葉に従って生きるキリスト者

私たちは今日、教会においてヤスクニの問題を考えるために集まっていますが、こうした活動は、知的的好奇心によって行うことではありません。ヤスクニ問題は、信仰の問題・教会の問題です。

最初にも語りましたとおり、万が一にも、日本が戦争に巻き込まれる可能性が、今、あります。そうなれば、社会の風潮は一変します。そうした中、私たちの教会は、ど

主なる神は、私たちと共にいてくださいます。私たちが、主なる神を忘れても、主は私たちのことを見守り続けてくださいます。他の神、偶像を前にして、私たちは、この主なる神を忘れてはなりません。

問 51 第二戒では、何が禁じられていますか。

答 第二戒は、画像により、あるいは神の言葉において定められていない何か他の方法で、神を礼拝することを禁じています。

問 52 第二戒に付け加えられている理由は、何ですか。

答 第二戒に付け加えられている理由は、わたしたちに対する神の主権、わたしたちに対する神の所有権、そして御自身への礼拝に対して神が持つておられる熱情、です。

第二戒においては、私たちが主なる神をどのようなお方として信じ、主なる神がどのようなお方として礼拝しているのか、ということが問われてきます。

ですから、第一戒と共に、区別して第二戒を覚えるということは、イスラエルの民のように、これが主なる神であると語りつつ金の子牛を作ることをしてはいけないばかりか、目の前で生きておられる主なる神がどのようなお方として、私たちが礼拝しているのかということが問われてきます。このように語れば、異教との戦い・偶像との戦いというのは、個人の信仰の問題ではなく、教会の問題、言い換えれば、牧師がどのような説教を語っているのか、ということが問われてきます。

のように対応するのか問われます。そしてあなたはどうするのか、問われます。

イスラエルの罪に対する主の裁きとして、北イスラエル王国はアッシリアに滅ぼされ、南ユダ王国もバビロンに滅ぼされ、イスラエルの民の一部は、バビロンに捕囚の民として連れて行かれました。このとき、4人の少年がいました。それが、ダニエル、

ハナンヤ、ミシャエル、アザルヤでした。ダニエル書3章では、ダニエルを除く3人が、国王ネブカドネツアルから金の像を拝むように命じられましたが、彼らは主への信仰を貫き像を拝むことをしませんでした。このとき彼らは、主なる神に祈り、その結果、激しく燃え上がる炉に投げ込まれましたが、主が助けてくださいました。6章では、ダニエル自身が信仰の故に獅子の洞窟に投げ込まれることが記されています。しかし主は、主を信じ通しているダニエルを守って下さいました。

第二次世界大戦中、日本の教会の多くは、信仰に躓き、天皇を神とする偶像崇拝を行

いました。そうした中、日本でも信仰の戦いを行った人がいたかと思いますが、韓国の人のことを紹介します。1910年に日韓強制併合が行われ、日本領とされていた朝鮮半島においても、朝鮮神宮が建てられ、そしてキリスト教会の指導者も朝鮮総督府によって、神社参拝が求められました。そうした中、偶像崇拝として神社参拝を拒否し、教会を罷免されながらも信仰を守った牧師たちがいました。その代表が殉教者朱基徹(チュキチョル)です。私たちに救いをお与えくださった主なる神が、第一戒・第二戒を教えてください。朱基徹牧師は、この信仰に立ち、信仰を貫くことにより、殉教の死を迎えました。

最後に

私たちキリスト者が、信仰を貫こうとするとき、主なる神がお与えくださった救いの恵みとはどのようなことであるのか、さらに主が私たちのためにお与えくださった十戒において、主は私たちに何を求めておられるのか、私たちは知ることが求められます。

マタイ 10:28 **体は殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、魂も体も地獄で滅ぼすことのできる方を恐れなさい。**

れなさい。

さらに、私たちは日本に生きるキリスト者です。日本の国がどのような国であるのか、為政者が何を求めて政治を行っているのか、私たちは正しく知り、また正しく恐れることが求められています。

こうした中、靖国神社がどのような神社として建てられ、また何を物語っているのか、キリスト者として考えて行くことが求められています。

【プログラム】

- 13:00 開会礼拝(説教者:大木信教師)
- 13:30 アナウンス・休憩
- 13:40 発題1「聖書からの視点でヤスクニ問題を考える」辻幸宏教師
- 14:20 発題2「歴史の視点でヤスクニ問題を考える」星出卓也教師
- 15:00 休憩
- 15:10 質疑応答・懇談会
- 15:50 閉会祈祷・アナウンス
- 16:00 閉会



Zoomにおいて録画を拝聴することができます。

<https://us06web.zoom.us/rec/share/oYZHsf75f5OSfCXJFDosBUGYTpNdckSq69b9enT-OR8E6uF0XJZ7khjmdxXMhaIv.lhdwJyaiRcelDCLf>

パスコード: 1z+z@5xU